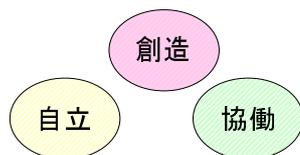


新地町教育委員会の施策と「第Ⅱ期教育振興基本計画」の関連
第Ⅱ期教育振興基本計画の3つの理念



第Ⅱ期教育振興基本計画の策定を受け、新地町教育委員会としての取組みを示した。

◎ 4つの基本方向性 (8つの成果目標 30の基本施策)

1. 社会を生き抜く力の養成
～多様で変化の激しい社会の中で個人の自立と協働を図るための
主体的・能動的な力～
「教育成果の保証」に向けた条件整備
2. 未来への飛躍を実現する人材の養成
～変化や新たな価値を主導・創造し、社会の各分野を牽けん引いんしていく人材～
創造性やチャレンジ精神、リーダーシップ、日本人としてのアイデンティティ、
語学力・コミュニケーション能力などの育成に向けた多様な体験・切磋琢磨の
機会の増大、優れた能力と多様な個性を伸ばす環境の醸成
3. 学びのセーフティネットの構築
～誰もがアクセスできる多様な学習機会を～
教育費負担軽減など学習機会の確保や安全安心な教育研究環境の確保
4. 絆づくりと活力あるコミュニティの形成
～社会が人を育み、人が社会をつくる好循環～
学習を通じて多様な人が集い協働するための体制・ネットワークの形成など
社会全体の教育力の強化や、人々が主体的に社会参画し相互に支え合うための
環境整備

自立とは、
一人ひとりが多様な個性、能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓くこと

協働とは、
個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かして、
共に支え合い、高め合いながら社会に参画すること

創造とは、
これらを通して、さらなる価値を創造すること

◎ I期 (H20～24) の課題

確かな学力では、 思考、判断、表現力に課題
家庭学習時間の減少
主体的な学習態度に課題

豊かな心では、 各種経験の減少から規範意識や社会性の稀薄化

健やかな体では、 二極化 (運動能力の高い・低い)
昭和60年代と比較して運動体力の低下

理由

「生きる力」を阻害してしまう家庭環境や子どもの学習・生活環境
学力向上を図るためのPDCAサイクルが機能不全
校種間（小・中・高）連携が図れず依然として存在するギャップ

改善のために

ICT活用
イノベーション創出
コミュニティとの協働



◎Ⅱ期（H25～29）

○社会を生き抜く力の養成（基本的方向性Ⅰ）

自立と協働を図るための主体的能動的な力である「社会を生き抜く力」を養う。
そのためには

●生きる力の確実な育成（成果目標1）

「自ら学び、考え、行動する力」を確実に育てる。
これにより、国際社会でトップレベルの学力に返り咲く。
いじめ防止、不登校の改善を図る。

「確かな学力」 トップを目指す
学習意欲・学習習慣の改善
個別の教育支援（特別支援教育）

「豊かな心」 個人や社会に関する意識の向上
自己肯定感の充実
いじめ防止・不登校の改善

「健やかな体」 昭和60年代の体力レベルへ復活

施策 1 確かな学力を身に付けさせるための教育内容・方法の充実

- ・学習指導要領の着実な実施とフォローアップ
- ・ICT活用
- ・復興教育
- ・放射線教育

新地町の取組み

- ・ICT教育の充実（絆プロジェクト、フューチャースクール、学びのイノベーション事業内容の継続、ICT支援員の配置）
- ・関係機関との連携による復興教育・放射線教育（YWCA・明治大学・地区医師会・原子力開発機構）
- ・小学生の家庭学習の充実（小学生テキストの作成）
- ・中学生の家庭学習の充実（中学生既成問題集の活用）
- ・トライ塾（長期休業中の中学生への学習支援）
- ・学習支援員、学校図書支援員の配置

施策 2 豊かな心の育成

- ・道徳教育の充実
- ・生徒指導教育相談の充実
- ・有害情報
- ・人権教育
- ・いじめ暴力問題への取り組み徹底
- ・復興教育
- ・体験活動
- ・伝統・文化

新地町の取組み

- ・「ことば」を通して実践する人にやさしい町づくり（別紙）
- ・17字のふれ合い
- ・京都府教育委員会派遣SCによる「心のケア」、SSWによる家庭サポート
- ・テレビ会議によるカウンセリング
- ・心のサポーター配置
- ・いじめ防止基本方針の策定
- ・福田十二神楽の保存・継承
- ・関係機関との連携による体験活動・文化活動の充実
（ピアノを支援する会・東北シチズン・仙台フィル・YWCA）

施策 3 健やかな体の育成

- ・食育の充実
- ・体験活動
- ・防災教育
- ・復興教育

新地町の取組み

- ・校庭の改良、福田地区プール、校庭遊具の設置
- ・地域学校保健委員会による「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
- ・自ら危険を予測して回避するための態度「主体的に行動する態度」を育む防災教室（防災教室については震災前から実施）
- ・放射線教育（放射線教室については震災前から実施）

施策 4 教員の資質向上（教師力・学校力から人間力へ）

新地町の取組み

- ・教育関係不祥事未然防止の推進（服務倫理委員会資料の作成・活用）
- ・各種研修会参加への補助
- ・ICT活用発表会開催（授業研究・講演会）
- ・新地町教育研究会（授業研究・セミナー）

施策 6 特別なニーズに対応した教育の推進

- ・円滑な就学手続き
- ・障がいのある子どもに対する合理的配慮・支援

新地町の取組み

- ・きめ細かな就学指導・支援
- ・介助員の配置

施策 7 各学校段階における継続的な検証改善サイクルの確立

- 課題探求能力の習得（成果目標2・大学～）
- 生涯を通じた自立・協働・創造に向けた力の習得（成果目標3）

施策 1 1 現代的・社会的な課題に対応した学習等の推進

- ・人権、環境の学習機会の充実
- ・体験活動及び読書活動の充実

新地町の取組み

- ・美文朗読の活用
- ・読書活動ボランティア
- ・学校図書支援員の配置・各学校への本の貸し出し
- ・関係機関との連携による体験活動（YWCA・明治大学）
- ・「ことば」を通して実践する人にやさしい町づくり

●社会的・職業的自立に向けた能力・態度の育成（成果目標４）

施策１３ キャリア教育・職業教育の充実～

- ・系統的なキャリア教育
- ・職業教育の推進

新地町の取組み

- ・新地町内関係機関との連携によるキャリア教育・福祉体験教育
- ・講演会（郷土出身者講演会）

○未来への飛躍を実現する人材の育成（基本的方向性Ⅱ）

●社会全体の変化や新たな価値を主導・創造する人材の要請（成果目標５）

施策１４ 優れた才能や個性を伸ばす多様で高度な学習機会の提供

- ・理数系人材養成、スポーツ文化に秀でた人材の養成

新地町の取組み

- ・トライ塾（夏休み・全国各地から著名な講師を招聘し「学び方」の習得）
- ・各種補助金

施策１６ グローバル人材育成に向けた取組の強化

- ・外国語教育の強化

新地町の取組み

- ・英検教室の開催

○学びのセーフティネットの構築（基本的方向性Ⅲ）

●意欲ある全ての者への学習機会の確保（成果目標６）

施策１７ 教育費負担の軽減に向けた経済的支援

- ・奨学金の充実等

新地町の取組み

- ・新地町奨学金
- ・トライ塾
- ・関係機関との連携による復興教育
（YWCA・明治大学・域内高校・学習評価研究所）

●安全安心な教育研究環境の確保（成果目標７）

施策１９ 教育研究環境の整備や安全に関する教育の充実等児童生徒の安全確保

- ・学校施設の耐震化
- ・安全教育
- ・学校安全

新地町の取組み

- ・耐震化率１００％
- ・地域の実情を考慮した特色ある防災教育の実践
- ・校舎・校庭の機能整備

○絆づくりと活力あるコミュニティの形成（基本的方向性Ⅳ）

●互助・共助による活力あるコミュニティの形成（成果目標８）

施策２０ 活力あるコミュニティの形成に向けた学習環境・協働体制の整備

- ・放課後子ども教室
- ・公民館を拠点とした地域コミュニティ

新地町の取組み

- ・新地町児童クラブ（福田、新地、駒ヶ嶺）
- ・スポーツ少年団
- ・地域文化サークル

施策 2 2 豊かなつながりの中での家庭教育支援の充実

- ・コミュニティの協働による家庭教育支援
- ・課題を抱える家庭への支援

新地町の取組み

- ・家庭学習用問題集の配付
- ・17字のふれあい
- ・SSWの活用

施策 2 3 現場重視の学校運営・地方教育行政の改革

新地町の取組み

- ・外部に開かれた定例教育委員会（移動教育委員会）
- ・学校教育に関する外部評価委員会

施策 2 4 きめ細かで質の高い教育に対応するための教職員等の配置

新地町の取組み

- ・ICT支援員、学習支援員、介助員、図書館支援員、心のサポーターの配置

施策 2 5 良好で質の高い学びを実現する教育環境の整備

- ・ICT教育
- ・バリアフリー
- ・エコスクール
- ・学校図書館の充実

新地町の取組み

- ・ICT教育（全クラス）
- ・各校太陽光パネル設置（コカ・コーラ支援）
- ・全校バリアフリー
- ・学校図書支援員の配置
- ・学校図書館の充実

施策 3 0 社会教育推進体制の強化

新地町の取組み

- 楽しい学習の場と機会を積極的に提供し、社会教育推進体制の強化を図る。
- ・生涯学習フェスティバル
- ・新地町職員出前講座
- ・各種教室の開催
- ・ボランティア団体への支援（読書活動ボランティア）
- ・生涯学習団体（文化協会・公民館利用団体等）との連携・支援